



令和7年 6月2日（月）  
石垣市立白保小学校  
TEL：86－7840  
FAX：86－7396

## ふるさとの誇り・・・海神祭

海の恵みに感謝すると共に豊漁と航海の安全を祈り、海の神様に感謝する祭り「海神祭」・・・四方を海に囲まれ、海の恩恵を受けて生きてきた我々日本人にとっては、誰もがその恩恵に対し感謝の気持ちを伝えなければいけないのかも知れませんね。その気持ちを伝えることのできる場である海神祭に、地域の宝である子どもたちと共に教職員が参加できることは、他の地域では体験できない喜びです。白保村の学校の先生として着任したからこそ味わえる「白保海神祭」 学校が子ども・保護者・地域と一体となって参加することの喜びが感じられた大切な一日となりました。



校歌ダンスを踊る1年生～4年生



## 子どもを台所に立たせよう！



颯爽と舟に乗り込む6年生



ゴールまでひたすら漕ぎ続ける！



白保小 PTA チームは中学校チームに惜敗

5月13日に「弁当の日」を全国に広めた竹下和男先生（元香川県校長）の講演会が3～6年生を対象に行われました。これまで全国で2500回を超える場所で講演活動をしてこられた竹下先生は、

「このタイトルは皆さんの親に向けた言葉ではありません。将来のあなたたちの子どもを台所に立たせてくださいという意味です。」という話から始めました。

最近のニュースを見ていると、人を殺してみたかった、誰でもよかったなど、人を人とも思わない、自分さえよければいいという、おかしいことを考える人が増えてきた。「あなたは勉強さえしていればいい。他のことは親がするから勉強だけ頑張ればそれでいい。」という身勝手な親が、子どもの脳に大切なことを教えないまま大人にさせている。

今はお金があれば食べ物に困ることはない時代。でも大切なことを学ばないまま大学生になった人が食べているものは、菓子パンやジュース、カップ麺といった貧弱なものばかり。これでは健康な脳は育たない。お金がないからと、自分や家族の健康や命を大切にしない大人が、人を大切にしない大人を育てている。自分や家族の命を守るために料理することを学んで、ちゃんとしたご飯を食べさせてあげよう。料理すらできない、子どもにお弁当も作ってあげられない大人になってはだめだ。

「弁当の日」は年に2、3回しかない。それでも、最初は反対する人も多かった。「子どもに包丁なんか持たせられない」「ガスも危なくて使わせられない」「弁当を持ってこれない子がかわいそう」・・・でもよく考えてください。食事の作り方を知らないまま大人になる方がもっとかわいそうです。自分の子どもにちゃんとした食事の作り方を教えらる大人になりなさい。子どもは親の作る食事で成長します。「おいしいね。」の一言で家族を喜ばせることができる。人を喜ばせることのできる人や、自分が喜んでる姿を見せることができる人は、決して人を傷つけたりいじめたりする子にはならない。家族の大切さやありがたみが分かる人はやさしい人です。そんな人間に育てたいなら自分の子を台所に立たせましょう！

竹下先生は一度も休憩せず、たっぷり1時間半もかけて子どもたちに大切なお話をしてくださいました。とても貴重な時間でした。

